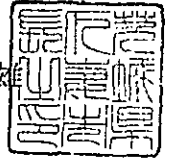


1711

下 妻 第 147 号
平成 20 年 10 月 14 日

国土交通省道路局長 殿

下妻市長 小 倉 敏 雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付 国道企第 37 号により、今後の道路行政についての意見・提案の提出について、別紙調査票を回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

環境に配慮した道路整備指針の策定とともに、年々増加する維持管理費への補助制度新設を要望する

様式①

茨城県下妻市

②ー1 地域の現状と抱える課題

○現状 市の主要幹線道路となっている国道 125 号は、砂沼をはじめ市内観光施設への重要なアクセス道路であることから、交通量の増加に伴い 4 車線化が進められてきたが、市内 1,600 メートル区間が 2 車線のため、慢性的な渋滞が発生し、観光施設等への利便性や日常生活に著しい不便をきたしており、早期バイパス整備が待たれている。また、国道 294 号においても首都圏と北関東を繋ぐ重要幹線道路として 4 車線化が進められ一部供用されているが、残る区間の早急な整備促進が必要である。 また、市内の県道においても、未改良区間の整備促進をはじめ、通学路への歩道設置、右折帯のない交差点の改良等、継続的な整備が必要である。 生活道路としての役割を担う市道については、幅員 4 メートル未満の道路や未舗装の道路が多く整備が立ち遅れているため、側溝整備事業や維持管理等も含め継続的な整備が必要である。特に、集落内道路は、防災上の観点からもセトバックの厳守を含め整備手法の検討が必要である。また、老朽化した橋梁の改築や維持管理が急務となっている。	○課題 財源の確保
---	-------------------------

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式③

茨城県下妻市

日常生活や産業活動に必要な幹線道路網がきちんと整備され、目的地までの移動が、短い時間で快適に移動できること。

生活に密着した道路網がきめ細かく各地を結び、車をはじめ歩行者や自転車などすべての移動が、安全で快適に行なえること。